

現代社会学科は
好きなことを仕事にしたい人
趣味を深く掘り下げたい人
学び方を学びたい人、学びたいことに迷いがある人を
求めています。

こんな君に来て欲しい。

感性や感覚より、ロジックな思考が好きで、よく理屈っぽいと言われる

SDGs：目の前の就職活動より、地球の将来が心配

「2030 未来への分岐点」を見て、どうすれば危機を回避し、持続可能な未来を実現できるか強く考えるようになった
世の中の「当たり前」を疑って、いろんな社会の矛盾が気になる

「私の生きづらさ」や「社会の生きにくさ」を感じている

多様性を認め、多様な人びとが生きやすい社会をつくりていきたい

「国際社会」と「ゲーム依存」と「アイドル」は繋がっていると思う

時代や分野を問わず、歴史に関する事柄が好きで「その時歴史が動いた」や「歴史秘話ヒストリア」が好き

「ワールドビジネスサテライト」や「ファミリーヒストリー」…などビジネス系ドキュメンタリーのTV番組が好き
地域活動、ボランティア、社会貢献活動が楽しかった経験があり、マスコミや地域おこしに興味がある

是枝裕和監督の映画が好き

社会で活躍する女性になるためのアイデンティティを築きたい

古い時代のものが好きで、博物館や美術館によく行く

世の中をより良く変えたい、女性がもっと住みやすい社会にしたい

大学の先生としっかり話をしたい、学び方を学びたい、学びたいことに迷いがある

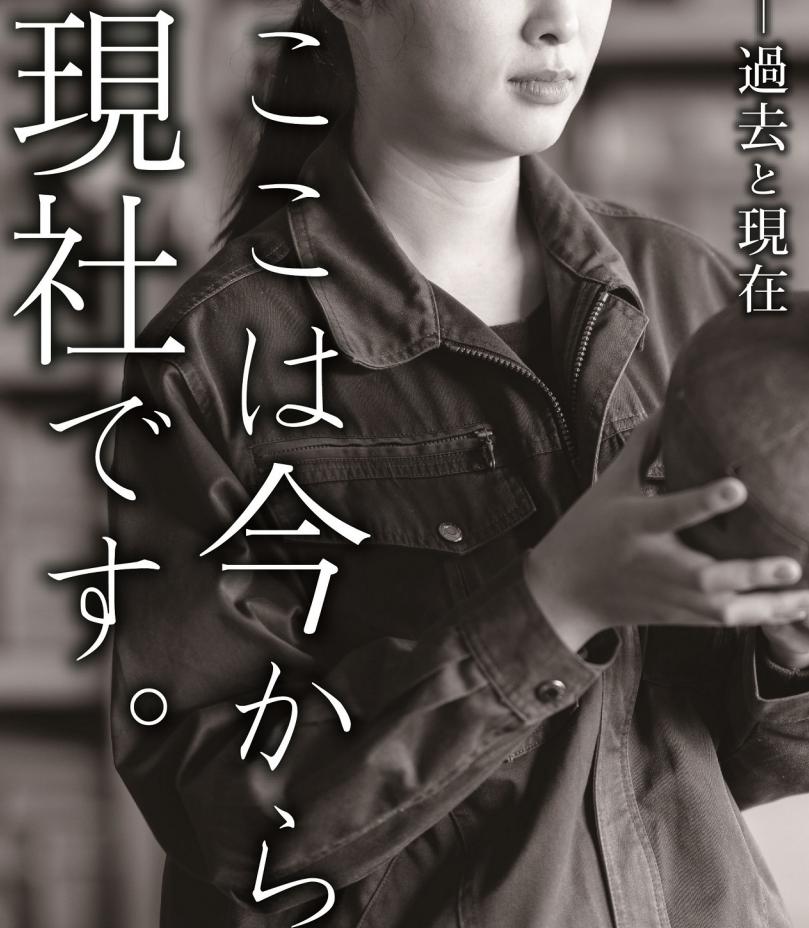
私たちは今、どんな世界に生きているのかを知りたい

私は何に興味があるのだろうか、じっくりと考えたい

それは無駄な時間か、人生に近道はあるのか、その選択は遠回りか、人の幸せってなんだろう…などと考える

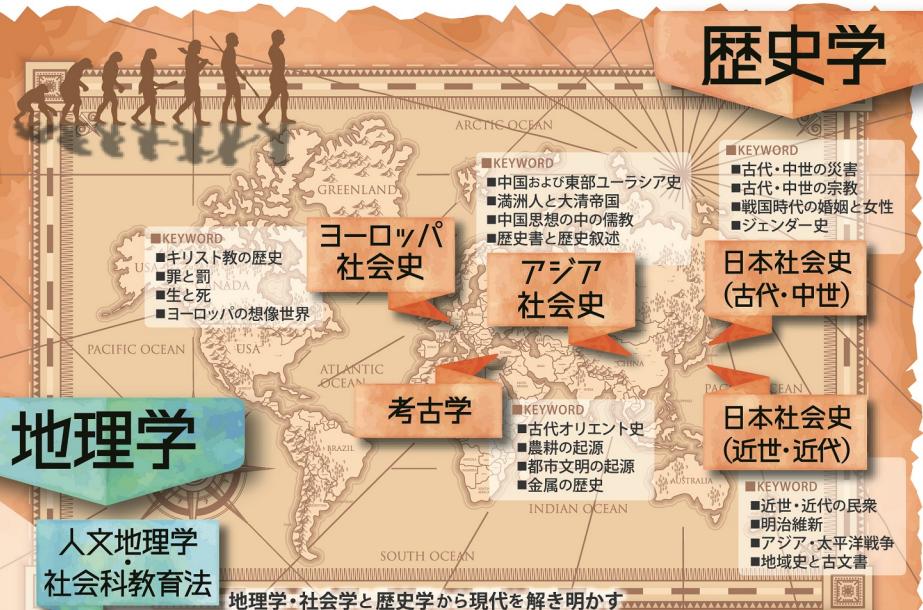
パンデミックで生活の危機にさらされているのは誰か、コロナ後に弱者の生きやすい社会をつくれるか疑問を感じる

少數派は多数派に従うべきなのか、もどかしさを感じる

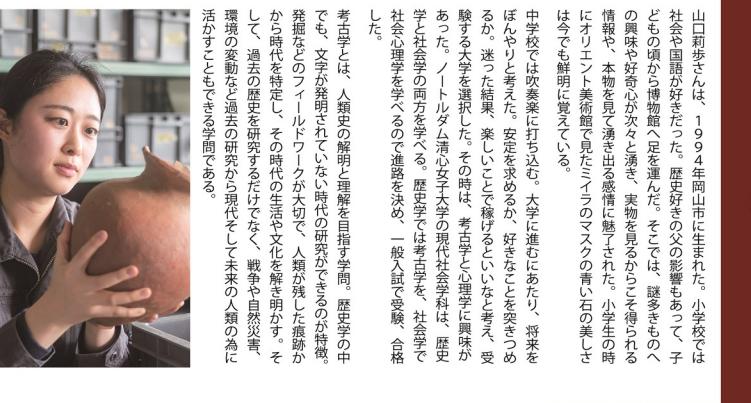


ここには今から
現社です。

歴史学



今の時代、大学を出ただけで、いい人生が歩めるとは限らない：
だったら
自分が好きな事を仕事にするのは悪くない



山口莉歩
1994年岡山市生まれ
2013年岡山県立岡山一高卒業
同年ノートルダム清心女子大学 現代社会学科入学
2017年ノートルダム清心女子大学 現代社会学科卒業
2020年岡山大学院修了
同年(公財)愛媛県埋蔵文化財センター勤務

山口莉歩さんは、1994年岡山市に生まれた。小学校では社会や国語が好きだった。歴史好きな父の影響もあって、子どもの頃から博物館へ足を運んだ。そこでは、謎多きものへの興味や好奇心が次々と湧き、実物を見るからこそ得られる情報や、本物を見て湧き出る感情に魅了された。小学生の時にオリエント美術館で見たマイケル・クラインの「マスク」の青い石の美しさは、今でも鮮明に覚えている。

中学校では吹奏楽に打ち込む。大学に進むにあたり、将来をぼんやりと考えた。安定を求める、好きなことを突きつめながら、迷った結果、楽しげに続けるといしなと考へ、受験する大学を選択した。その時は、考古学と心理学に興味があり、考古学を選びた。その時は、考古学と心理学に興味があり、考古学を選択した。その時は、考古学と心理学に興味があり、考古学を選択した。考古学では、考古学の両方を学ぶ。歴史学では考古学を、社会学では社会心理学を学べるので進路を決めた。一般入試で受験、合格した。

考古学とは、人類史の説明と理解を自指す学問。歴史学の中でも、文字が発明されていない時代の研究ができるのが特徴。発掘などのフィールドワークが大切で、人類が残した痕跡から時代を特定し、その時代の生活や文化を解き明かす。その後の歴史を研究するだけでなく、戦争や自然災害、その環境の変遷などを過去の研究から現代として未来の人類の為に活かすことができる学問である。

ノートルダム清心女子大学の良さは、何と言っても少人数制で、ひとりひとりに手厚い学び場であること。大学では、学園祭の実行委員になり他の学生や学年の学生とも交流をした。そして、ストーンヘンジを見たり、お金を貯めて友人とイギリスへ旅したり、大英博物館を堪能した。学芸員の実習では林原美術館での入れ替えを体験した。また、紹介先生が毎年行っているトルコでの発掘調査に参加を希望したが、当時トルコは政情が不安定しておらず断念した。しかし、大学4年の時に中東のバハーレーンでの発掘調査に参加した。就職では、中四国のフィールドと職場環境で、今の職場、セシターへ2年目。丁寧に土器を見ているところ、先にその人を見せてくる。(形)がそのままの時代に生きている人の知恵や工夫まで語りかけてくる。ロジックの思考に加え、感性や想像力を使って仕事を楽しんでいる。しかし、今は決まった時間で成果を上げるという仕事の難しさにぶつかっている。大学では、自分でお金を稼いで、時間も自由。自分次第で、どうでもいい。今しかできないことを大学の時になんでも恐れずどんどん取り組んでみたいと語る山口さん。

2020年11月、結婚。パートナーも同じ考古学者を生業としている。「これからは、より多くの人に考古学的魅力や文化財の価値を理解してもらえるよう、努力していくたい」と、休日2人でよく行く海辺の公園で、未来を語ってくれた。

今考えると
就活は
通過地点で
ゴールではない

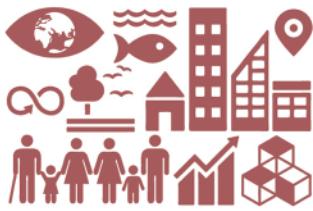
みんなの人生ですから…



自分に正直に…
ばんやりでいい。
やりたいことを
見つけて
おきましょう。

まだ見ぬ
自分を
探しませんか。





現代社会学科
大学公式サイト

地域から学ぶ

【総合的な探究】
キャンパスを離れて



【field work】

フィールドワークとは、社会学や人類学から始まったリサーチの手法です。キャンパスを離れて、フィールド（研究対象の現地）を訪れ、フィールドの事情を直接観察したり、関係者から話を聞いて、問題点を明らかにして、解決策を探ります。本や講義だけでは学べない情報を直接現地で集める、これがフィールドワークです。

ノートルダム清心女子大学

現代社会学科

■ 現代社会学科は【総合的な探究】として、商品開発や観光促進、防災、環境、歴史遺産、町づくり、ものづくりなど地域への貢献を考察します。



今話題の地紅茶 「高梁紅茶」を知っていますか？

■ 地域社会学【field work】

二階堂ゼミでは、2012年より岡山県高梁市の農家が作る「百姓のわざ伝承グループ」とともに、長らく耕作放棄地となっていた茶畑の再生に取り組んできました。現在は、食品栄養学科の吉金ゼミの学生と、「株式会社シェイアール西日本ディリーサービスネット」も参画して、より付加価値の高い紅茶づくりに着手しています。茶葉の収穫・加工から、パッケージの企画、できあがった紅茶の販売までを協働で進めており、高梁紅茶の魅力をもっと多くの人々に知ってもらうことが、そのねらいです。この産学連携による実践活動を通して、学生は過疎地域の現状を肌で感じるとともに、課題解決に向けて、異なる立場の人々が連携することの大切さを学んでいます。

地域に内在する課題を「G I S」で可視化する手法を知っていますか？

■ 人文地理学【field work】

地理学に必要な要素は「場所」、「地域」、「空間」つまり「どこ」ということです。研究対象は、地形や気候などの自然環境、産業（商業や観光など）・都市・村落・人口などの社会環境と多様です。「なぜここにあるのだろう」ということに興味関心を持って、文献・フィールドワーク・統計・地理情報システム（G I S）を活用して分析・考察します。フィールドワークの手法を卒業論文に活用できるように3年生では、都市の景観、商店街の活性化、住宅団地とまちづくりなどのテーマに沿って地域を歩いて、観て、考えることができる実習を行っています。得られた地域データをG I Sの活用により可視化することで、地域の課題や特性を分析しています。



地域にどれくらい 「古文書」があるか知っていますか？

■ 日本社会史（近世・近代）【field work】

日本各地には、まだ知られていない古文書（こもんじょ）が膨大にあります。では、地域にどのようなかたちで古文書は残されているのでしょうか。そして、それらをどのように活用し、歴史の研究を進めていけばよいでしょうか。久野ゼミでは、こうしたことを実践的に学び、地域に残された史料から新たな歴史的世界を見出ための力を磨きます。最近では、倉敷市児島にある野崎家塙業歴史館・旧野崎家住宅で調査を進めていますが、ここには約10万点の未知の古文書が残されており、岡山地域の歴史を考える上で大事な発見が相次いでいます。まだ誰にも知られていない地域の歴史や文化を解き明かす醍醐味をいっしょに味わいませんか。



岡山の 「世界遺産」を知っていますか？

■ 考古学【field work】

考古学のゼミでは「吉備路を巡り吉備のくにの古代遺跡を探る」フィールドワークを行っています。トルコのアナトリアを研究する細谷ゼミでは都市文明を代表とするメソポタミアと鉄器文化を生み出したアナトリアのヒッタイトを学び、日本で同様の大和朝廷と吉備のくにを2項対比で考察しています。歴史学と社会学は、その理論をキャンパスで学び、地域へ出ることで初めて現代社会への応用・活用が見えてくるのです。私たちの足元には、地方経済を支えている多くの中小企業が握りどころとすべき宝物が沢山眠っているのです。私たちと皆さんの足元に眠っている地域の宝を掘り起こしましょう。

